













夏秋野菜の生育状況と9月の価格見通しについて（9月5日現在）  
 （東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況 等
根 菜 類	生育は概ね順調であるが、特にだいこんについては病虫害の発生等により <b>9月前半の出荷数量が減少</b> 。
葉 茎 菜 類	生育は概ね順調であるが、特にレタスについては8月後半からの長雨により <b>9月の出荷数量が減少</b> 。
果 菜 類	ピーマンの生育は順調であるが、その他の果菜類は天候不順の影響を受けて <b>出荷数量は減少</b> 。
土 物 類	たまねぎについては、天候不順により <b>収量は低下する見込み</b> であるが、府県産の出荷が継続するため9月の出荷数量は平年並。また、ばれいしょ等の生育は概ね順調であり平年並の出荷を見込む。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年9月の入 荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			9月前半	9月後半
だ い こ ん	北海道(63%) 青 森(27%)	7月中旬の長雨で播種作業が遅れたこと及び病虫害の発生により、 <u>9月前半</u> の出荷数量は減少するため <u>価格は平年を上回る見込み</u> 。 <u>後半</u> の出荷数量は概ね平年並まで回復するため <u>価格は平年並に回復する見込み</u> 。 ただし、 <u>台風12号</u> に伴う大雨の影響については要注意。		
に ん じ ん	北海道(92%) 千 葉(2%)	生育は概ね順調。 <u>出荷数量、価格ともに平年並の見込み</u> 。 ただし、 <u>台風12号</u> に伴う大雨の影響については要注意。		

はくさい	長野(91%) 群馬(5%)	生育は順調。出荷数量、価格ともに平年並の見込み。 ただし、台風12号に伴う大雨の影響については要注意。	→	→
キャベツ	群馬(81%) 岩手(10%)	生育は順調。出荷数量、価格ともに平年並の見込み。 ただし、台風12号に伴う大雨の影響については要注意。	→	→
ほうれんそう	群馬(30%) 栃木(29%)	降雨の影響を受けて9月前半の出荷数量は減少するため価格は平年を上回る見込み。9月後半は平年並の出荷に回復するため価格は平年並の見込み。	↗	→
ねぎ	青森(32%) 秋田(13%)	9月前半は出荷数量、価格ともに平年並の見込み。9月後半の出荷は、4月の干ばつによる定植作業の遅れ及び7月の干ばつで細物になっていることから平年をやや下回ることから価格は平年を上回る見込み。	→	↗
レタス	長野(85%) 群馬(10%)	8月後半からの長雨により縁腐れ等がでて9月の出荷数量は減少するたる価格は平年を上回る見込み。 ただし、台風12号に伴う大雨の影響については要注意。	↗	↗
きゅうり	福島(25%) 埼玉(15%)	7月下旬の低温により発芽が遅れて生育が遅延したこと及び8月31日の大雨により浸水した影響により9月の出荷数量は減少するたる価格は平年を上回る見込み。	↗	↗
なす	栃木(31%) 茨城(23%)	8月中旬頃の気温が高かったこと等により根の生育が弱まったこと及び断続的な雨で品質が劣化していること等から、9月の出荷は平年をやや下回るため価格は平年をやや上回る見込み。	↗	↗

トマト	千葉(20%) 青森(17%)	主産県における生育は概ね順調であるものの、一部地域においては育苗期間の3月～4月に重油を調達できなかったこと、3月の計画停電により育苗が遅れたことが影響していることから、総じて9月の出荷は平年をやや下回るため <u>価格は平年をやや上回る見込み</u> 。		
ピーマン	茨城(35%) 岩手(27%)	生育は順調。 <u>出荷数量、価格ともに平年並の見込み</u> 。		
ばれいしょ	北海道(95%)	生育は概ね順調。 <u>出荷数量、価格ともに平年並の見込み</u> 。 ただし、 <u>台風12号に伴う大雨の影響については要注意</u> 。		
さといも	千葉(54%) 宮崎(32%)	生育は概ね順調。 <u>出荷数量、価格ともに平年並の見込み</u> 。		
たまねぎ	北海道(84%) 兵庫(6%)	<u>北海道においては、北見管内における6月上旬の降雹被害の影響、上川・空知管内における6月～7月の多雨等により根が傷んで小玉傾向となったことから、総じて<u>収量は平年の8割程度</u>になる見込み。</u> なお、 <u>9月の価格は、北海道産の出荷と府県産（兵庫県及び佐賀県）の流通在庫等があるため平年並の見込み</u> 。	